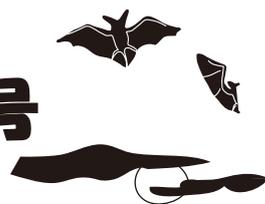


タンネウシ 6月号



鳥のシンポジウムです。

北海道と北方四島の希少鳥類 シマフクロウ・タンチョウ・オジロ ワシの“今”を知る

北海道を代表する3種の希少鳥類に対して、さまざまな研究や保護の取り組みが行われてきました。北方四島国後島の保護関係者来訪にあわせて、各種の生息状況や課題を知り、これからの保護について話しあいます。

日 時：6月12日(日) 13:30~16:00

場 所：ゆめホール知床・会議室1

参加費：無料 申込不要

主 催：北の海の動物センター

協 力：斜里町立知床博物館

※会場はゆめホールですご注意ください。

＜主な講演者(予定)＞

国後島保護区スタッフ 〈未 定〉

タンチョウ保護研究グループ 百瀬邦和

東京農業大学生物産業学部准教授 白木彩子

環境省シマフクロウ保護増殖検討会委員

山本純郎

環境省釧路自然環境事務所スタッフ 〈未 定〉

猛禽類医学研究所 斎藤慶輔

札幌大学地域共創学群教授 早矢仕有子

北海道博物館学芸員 表溪太

シマフクロウ環境研究会 竹中健

※諸事情により国後島からの講演者が来訪できない場合もあります。

知床博物館協力会主催

6月26日(日)は、博物館みどりの日

時 間：9:30~12:00

博物館前の花壇に花の苗を植えます。作業終了後、親睦会(焼き肉)もあります。毎年人手が足りません。ご協力お願いします。

毎月10日は、 早朝 草取りボランティア!

6月10日(金) 6:00~7:00

博物館裏、野外観察園集合

ミュージアムカフェ

コウモリカフェ

コウモリは、益獣とすることをご存知でしたか?なんと一個体が1日で400~500匹の蚊を食べます。近藤さんは、道東には40万から50万のコウモリが生息し、斜里町には9,000から11,000個体生息するものと推測しています。つまり半年間で6億5千万以上の蚊を消滅させています。コウモリは、体表の温度がマイナスになっても蘇生できます。お茶を飲みながら、そんなコウモリの意外な面をお話します。

□日 時：6月24日(金) 18:30~20:30

□場 所：交流記念館2階応接室

□担 当：近藤憲久 学芸協力員

(道東コウモリ研究所)

□定 員：13名(最少催行人数5名)

□参加費：大人200円(協力会会員無料)

□要申込み

□珈琲、紅茶を用意します。



モモジロコウモリ

収蔵資料展示

6月の収蔵展示は、平河内学芸員が「懐かしの日用雑器」と題してお皿などを展示します。お楽しみに。

期 間：6月1日(水)~30日(木)

場 所：交流記念館ホール

※収蔵資料展示のみの観覧は無料です

今年度の行事予定

- 特別展「ヒグマ」今秋開催予定
- ロビー展「はたおり」新企画「模型展」など
- 夏休み体験講座・クイズラリー
- ミュージアムカフェ(イタチなど)
- 協力会限定ツアー(内容未定)
- 天体観望会・地質講座など

6月の休館日は、6・13・20・27日の月曜日です。